



プレミアムノー残業デー

クールアース・デー ライトダウン 7 月 7 日夜 7 時、市役所完全消灯

生駒市は、7 月 7 日の七夕の日に全国で実施されるクールアース・デー ライトダウンキャンペーンに合わせ、同日を「プレミアムノー残業デー」とし、午後 7 時に完全消灯することにより、職員の定時退庁を促進します。（同キャンペーンの消灯時間は通常、午後 8 時～10 時ですが、本市は 1 時間早く午後 7 時に完全消灯します。）

本市は、職員のワーク・ライフ・バランス向上とコミュニティへの参加促進のため、県内初のイクボス宣言や時間外勤務の削減徹底、「父親の配偶者出産休暇」と「妻の産休中育児休暇」の 100%取得と、「働き方改革」の具体化に、先進的に取り組んでいます。

また、住宅都市初の環境モデル都市として、地球温暖化対策及び省エネルギーのための「COOL CHOICE（賢い選択）」を推進しており、クールアース・デーのライトダウンもその取組の一環となります。

■ プレミアムノー残業デー

◇ 消灯時間 7 月 7 日（金） 午後 7 時

◇ 対象施設 生駒市役所本庁

※ 午後 5 時 15 分から人事課と職員労働組合での庁内巡回により定時退庁を促し、午後 7 時に完全消灯します。

■ 午後 7 時からの消灯に合わせて、市役所入口で、キャンドル・ランタンを点灯

当日の午後 7 時から、普段の生活で実践する「COOL CHOICE 宣言」を記入してもらった笹飾りを展示するとともに、照明を消灯し暗くなった市役所入り口付近で、子どもたちが手づくりしたエコキャンドル*やソーラーランタン*などを灯します。

ノー残業デーの七夕の夜、キャンドルやランタンの灯りを見て、ワーク・ライフ・バランスや私たちがいつも使っている電気についてゆっくりと考えるきっかけにします。

当日は、「エコキャンドル作り教室」を指導していただく近畿大学学生「Eco Crew（エコクルー）」が点灯に参加します。また、エコキャンドル、ソーラーランタンを作成した子どもたちにも参加を呼び掛けます。



【エコキャンドル*】

7 月 1 日（土）の「エコキャンドル作り教室」で、近畿大学の大学生「Eco Crew」を講師に迎え、小学生が廃油を使って作るキャンドルです。



【ソーラーランタン*】

太陽光で充電でき、LEDで光るライトです。6 月 25 日（日）に開催する「環境フェスティバル」の工作教室で小学生が作ります。

【参考】

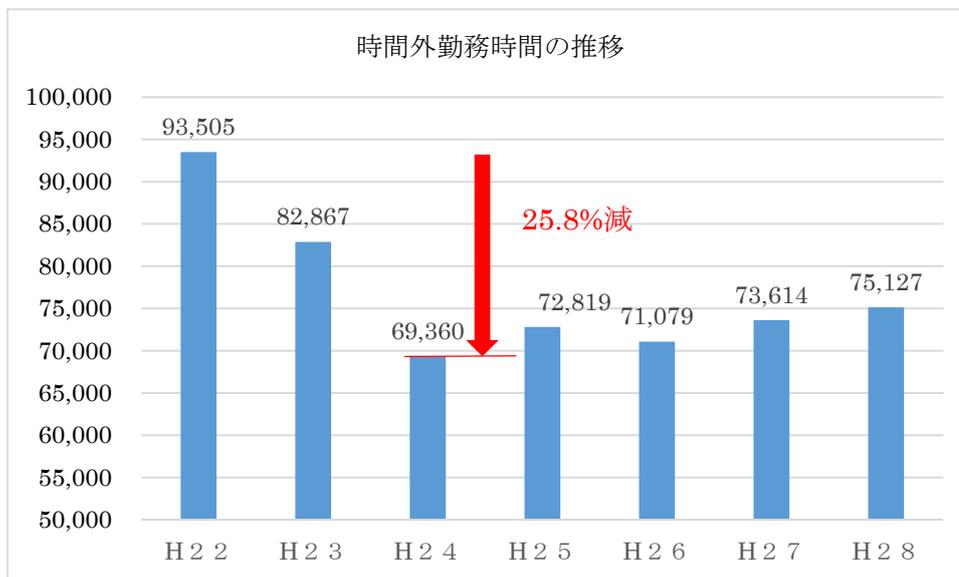
□ ワーク・ライフ・バランスを向上させる本市の取組

◇ 県内初のイクボス宣言

イクボスとは、ともに働く部下・スタッフなどのワーク・ライフ・バランスを考え、育児支援を含め、仕事と生活を両立しやすい環境を整備し、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司を指します。本市では、平成 28 年 12 月 22 日に、県内で初めて市内の大学・企業・団体とともに実施し、理事者や全管理職がこの宣言に署名しています。

◇ 時間外勤務の削減

年間の総残業時間を 60,000 時間に抑制するため、人事評価において目標設定したり、毎週水曜日をノー残業デーに設定したりするなど、時間外勤務の削減を推進しています。



□ 住宅都市として初めての環境モデル都市

環境モデル都市とは、地球温暖化の原因となる二酸化炭素などの温室効果ガスの大幅な削減など、低炭素社会の実現に向けて、高い目標を掲げて先駆的な取組みにチャレンジする都市として国が選定するものです。全国で 23 都市が選定されており、生駒市は平成 26 年 3 月に大都市近郊型の住宅都市として初めて選定されました。

□ クールアース・デー

クールアース・デーとは、天の川を見ながら、地球環境の大切さを日本国民全体で再確認し、年に一度、低炭素社会への歩みを実感するとともに、家庭や職場における取組を推進するための日。2008 年の G8 サミット（洞爺湖サミット）が日本で 7 月 7 日の七夕の日に開催されたことを契機に、毎年 7 月 7 日がクールアース・デーと定められました。（環境省ホームページより）

この件に関する報道関係からのお問い合わせ

プレミアムノー残業デー：生駒市人事課（田中、南口） ☎0743-74-1111(内線 241、242)
クールアース・デー ライトダウン：生駒市環境モデル都市推進課（川島） ☎同上(内線 371)